

全学内部質保証委員会検証における意見への対応

部局等：データ科学・AI 教育研究センター

評価結果における意見等 (※問題点や改善を要する事項、改善が望まれる事項等)	対応状況
<p>基準3-4に関して、中期計画に掲げられている「各学部の特徴に応じた数理・データサイエンス・AI分野の教育を推進」について、自己点検評価報告書の少なくとも該当箇所の記述からは具体的な取り組みが十分に読み取れなかった。例えば、リテラシーレベル教育の必修化や学部単位での応用基礎レベル教育の認定取得や普及が各学部の特徴に応じた教育ということであれば、それを明示的に記述するのが望ましい。</p>	<p>リテラシーレベルの認定教育プログラムである「データサイエンス実践基礎力育成プログラム」(全学開講)については、リテラシーレベルの位置付けとして、</p> <p>データと社会との関係性を学ぶ「導入」、データを読み解き、扱うための基礎的な能力を学ぶ「基礎」、データやAIを利活用する際の倫理的・法的・社会的な留意点などを学ぶ「心得」などにより構成された、全ての学生が身に付けておくべき素養</p> <p>となっており、「各学部の特徴に応じた数理・データサイエンス・AI分野の教育を推進」に該当しない。一方で、応用基礎レベルについては、「〇〇学部数理・データサイエンス・AI応用基礎力育成プログラム」という名称の教育プログラムを学部ごとに設け、数理・データサイエンス・AI分野に関連する既存の科目をプログラム構成科目とするとともに、数学基礎やプログラミング基礎等については、各学部の学生の到達度に応じた科目を新規開講するなど、各学部の特徴や事情を考慮した教育を推進している。</p>